

特殊詐欺対策通信

特殊詐欺発生状況 (※SNS型投資・ロマンス詐欺は含まれません)

12月中	件数	金額	1~12月	件数	金額
R6年	36	約1億8,250万円	R6年	197	約6億3,240万円
R5年	14	約1億980万円	R5年	182	約6億780万円
増減	+22	約+7,260万円	増減	+15	約+2,460万円

※金額欄は端数を四捨五入しており、金額の増減と一致しない場合があります。

SNS型投資・ロマンス詐欺発生状況 (※特殊詐欺には含まれません)

12月中	件数	金額	1~12月	件数	金額
R6年	13	約1億2,100万円	R6年	139	約16億7,620万円
R5年	4	約2億2,050万円	R5年	30	約3億8,660万円
増減	+9	約+9,950万円	増減	+109	約+12億8,960万円

※当面の間、特殊詐欺に類似するSNS型投資・ロマンス詐欺の件数・金額を掲載します。

12月中の主な手口 (警察官などを名乗るオレオレ詐欺)

警察官などを名乗るオレオレ詐欺の手口一例

被害者の自宅の固定電話に総務省職員を名乗る者から電話があり、「あなたの名義で携帯電話が不正に利用されている。」「これから警察に届け出るので、警察から電話がかかってきたらあなたも警察に届け出て下さい。」などと言われる。すると、他都道府県警察の警察官を名乗る者から電話があり、「詐欺事件の犯人を逮捕しています。犯人はあなた名義の口座を持っており、その口座に多額の現金が振り込まれあなたが犯罪に関与している可能性があります。」などと言われ、捜査に必要との名目で個人情報や預貯金、自宅に保管している現金の金額等を聴取される。そして、警察官を名乗る者から「あなたの口座が凍結される可能性がある。」「凍結を避けるためにはお金の調査が必要で、自宅の現金も調査する必要がある。」などと言われ、さらに「今、捜査員が自宅に向かっています。」「持っている現金を袋に入れて自宅の裏側に置いておいて下さい。捜査員が受け取りに行きます。」などと言われ、言われるまま袋に入れた現金を置いていたところ、いつの間にか現金がなくなっており被害に遭ったもの。



上記手口は一例です。県内では、他都道府県警察の警察官を名乗るオレオレ詐欺の被害が増えています。事情聴取をするなどと理由を付けてSNSに誘導し、偽の警察手帳、偽の逮捕状等を示して金銭を要求する手口など様々な手口がありますので注意して下さい。

未然防止紹介

12月中、玉島富田郵便局では、老人ホーム入居権の勧誘を巡って金融庁を名乗る者から金銭を用意するように指示された来店客が窓口において出金しようとしたところ、局員が話を聞いて詐欺と見破り、架空料金請求詐欺を未然に防止することができました。

各コンビニエンスストア等では、電子マネー購入者に声を掛けるなどして架空料金請求詐欺被害を未然防止しました。

このほかにも、金融機関やコンビニエンスストアなどで合計14件の特殊詐欺被害、SNS型投資・ロマンス詐欺被害を未然に防止することができました。

ココに「技あり」!

玉島富田郵便局では、来店客が窓口で出金手続きをしたことから局員が話を聞いて「知らない人に振り込みをする」ことを来店客から聞き出したことで未然防止につながっています。金融機関、コンビニエンスストアの皆様は今後も「警察から依頼されている」ことを理由に各種お声掛けをお願いいたします。